

四月に入り、本校の樹木も鮮やかに芽吹いています。ただ今、入学を許可されました二百三十九名の皆さん、御入学おめでとうございます。第四十六期生となる希望に満ちた皆さんの入学を教職員並びに在校生と共に、心から歓迎いたします。

また、御多用のところ御臨席を賜りました御来賓の皆様並びに保護者の皆様に御礼申し上げます。

本校は、武蔵野市をはじめ地域の方々の熱心な運動と御支援により開校し、昭和54年（1979年）4月に第1期生を迎えました。翌昭和55年1月に、桜並木と都立公園の広大な緑地に囲まれた校舎に移転し現在に至っています。これまで10989名の生徒が卒業し心身ともにたくましく、自己開発に努め、自律した人材として各界で活躍をしています。

東京都教育委員会からは「進学指導推進校」「グローバル・エデュケーション・ネットワーク20」「理数研究校」等の指定を受け、「より高い目標と夢に向かってチャレンジできる学校」として更なる飛躍を目指しています。日々の質の高い授業と3年間を見通した進路指導がうまく機能していることも本校の特色と言えます。その結果、3月に卒業した第四十三期生は3名が東京工業大学に合格するなど国公立大学に56名、早稲田、慶応、上智、東京理科大学に68名、学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政大学に297名が合格するなど大学進学で確実に成果をあげています。

部活動においても、古くは昭和56年に軟式野球部が全国大会出場、昨年度は陸上競技部が10年連続関東大会出場、水泳部が3年連続全国大会出場など全国レベルでの活躍があります。どの部活動も自分達の高い目標を掲げて挑戦しています。学校行事・委員会活動でも、独創性を発揮し、輝かしい実績や、クオリティーの高いパフォーマンスを展開し、後輩たちに「ムサキタ」の伝統となる実績を示しています。

新入生の皆さんには、本校の歴史と伝統を自らの力で継承、発展させる意欲と希望をもち、先輩を乗り越え前進してほしいと願っています。

本校は「スクール・ミッション」として、

- ・体験的なキャリア教育を通して幅広い教養と豊かな情操を養うこと
- ・グローバル化が進展する社会の中で自ら課題を設定して解決に導く力を伸ばすこと
- ・何事にも高い志をもってチャレンジする精神を育むこと
- ・他者を尊重して国際社会でたくましく生き抜く人材を育成することを掲げています。

本日入学した皆さん全員が、本校での学校生活をとおして、世の中のために、人々のために、広く社会で活躍することを、私たち教職員は大いに期待しています。

そこで、これから皆さんが本校で学ぶにあたって、大切な三つのこととお話しします。

一つ目は、夢をもつとともに、夢を志に発展させてほしいということです。皆さんは、本校での学びをとおして、自己の適性を発見し、夢をふくらませていくことでしょうか。夢は自己の能力を高める原動力となります。

ある日本を代表する企業経営者は、「夢は漠然とした個人の願望であり、志は個々人の願望を超えて多くの人々の夢を叶えようとする気概です」と述べています。夢をベースにして、「人のため、社会のため」に貢献したいという想いまで一段高めたものが「志」となるのではないのでしょうか。「志」をもつほど主体的な行動意欲が高まります。皆さんには、夢を志に発展させてほしいと思っています。

二つ目は、幅広い教養を身に付けてほしいということです。

哲学者の鷲田清一（わしだ きよかず）氏は、教養について次のように述べています。「教養とは、一つの問題に対して必要ないくつもの思考の補助線を立てることができるということです。一つの問題をさまざまな方向から照射し、問題を立体的に浮き彫りにしてゆけ

る能力です。不確かな状況のなかで不確かなまま的確な判断と決断ができる、そのための基盤となるのが、教養というもののなのです。」

将来、社会の中核として活躍が期待される皆さんにとって、普通教科において文系理系の両方をバランスよく学習し、幅広い視野で物事を判断する力を身に付けることが非常に重要であり、本校ではその実現が可能です。

今年度から本校は「総合的な探究の時間」の更なる充実を図るため準備を進めています。2学年での論文作成が中心となりますが、東京農工大学、東京学芸大学、東京都立大学等との高大連携により、探究的な学びを一層充実させ、皆さんのデータ分析力、論理的思考力、プレゼンテーション力等の向上を図ります。また、各教科の授業においても、知識・技能を活用して探究する場面を適宜設定して、皆さんが自ら課題を発見し、解決していく力の育成を図ります。

皆さんには、知ることの喜びや探究する方法を学び、知的好奇心を弾みに主体的に学習に取り組み、幅広い教養を身に付けてほしいと思っています。

三つ目は、心身ともに健康でくじけぬ心とたくましい体を育てほしいということです。これは本校のグラデュエーション・ポリシーです。皆さんは、中学生のときに自分を見つめ、自分の将来に向き合い、本校を志望し、入学者選抜で実力を発揮して合格し、今この場所にいます。自分の意思で進路を切り拓いた皆さんは、胸を張って自信をもってよい人であり、すばらしい資質・能力をもつ、かけがえのない人です。

また、今日から始まる高校生活の中で、勉強、進路、友人関係等で思い悩み、時に自信を失うこともあるでしょう。皆さんの周りには、保護者の方をはじめ、クラスメイトや上級生、担任の先生、副担任及び各教科の先生、部活動の先生、養護の先生、実習支援員の先生、ICT支援員、スクールカウンセラー、経営企画室の職員、図書館司書や学校をいつもきれいにしてくれている用務専門員など、皆さんを導き、支えてくれるたくさんの方がいます。困ったときは、互いに助け合うとともに、一人で抱え込まずに、早期に、遠慮なく相談してください。たくさんの方が皆さんの周りにいることを忘れないでください。

皆さん一人一人が、「夢を志に発展させ」、「幅広い教養を身に付け」、「心身ともに健康でくじけぬ心とたくましい体を育む」ことは、即ち武蔵野北高校が永遠に発展・成長していくいしづえを築いていくことでもあります。皆さんのこれからの活躍を大いに期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様におかれましては、改めてお子様の御入学へのお慶びを申し上げます。この十五年間、さまざまな御苦勞があったかと存じますが、お子様を立派にお育てになられたことに対し、心より敬意を表します。

本日、大切なお子様をお預かりいたしました。私たち教職員は、「スクール・ミッション」に基づき、教育実践に努めて参ります。全教職員で生徒に寄り添い、一人一人の生徒のもつ可能性を伸ばし、三年間で心身ともにたくましい若者へと成長させて参ります。ぜひ、本校の教育方針に御理解をいただき、お子様の成長に向け、一緒に取り組んでいきたいと思っておりますので、何卒、御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

それでは、本日入学した二百三十九名の新入生の皆さんの充実した高校生活と、健やかな成長を祈念し、私の式辞といたします。

令和六年 四月 九日

東京都立 武蔵野北高等学校長 高木 和美